令和8年3月31日

令和7年度
「せたがやCo-Lab.」（官民連携提案窓口）による取組み状況について

世田谷区
政策経営部
官民連携・行政手法改革担当課

世田谷区における官民連携

区では、官民連携の提案窓口「せたがやCo-Lab.（せたがやコラボ）」を設置し、庁内外から官民連携の提案を随時受け付けている。

取組み状況

民間提案による実施件数

134件

令和6年度:118件
令和5年度:92件

検討した民間提案件数

228件 ※昨年度までに受けた提案18件を含む

令和6年度:219件
令和5年度:205件

新規対話団体数

100団体

令和6年度:87団体
令和5年度:80団体

テーマ設定数

5 件 ※別紙(P20)参照

令和6年度: 2 件
令和5年度: 4 件

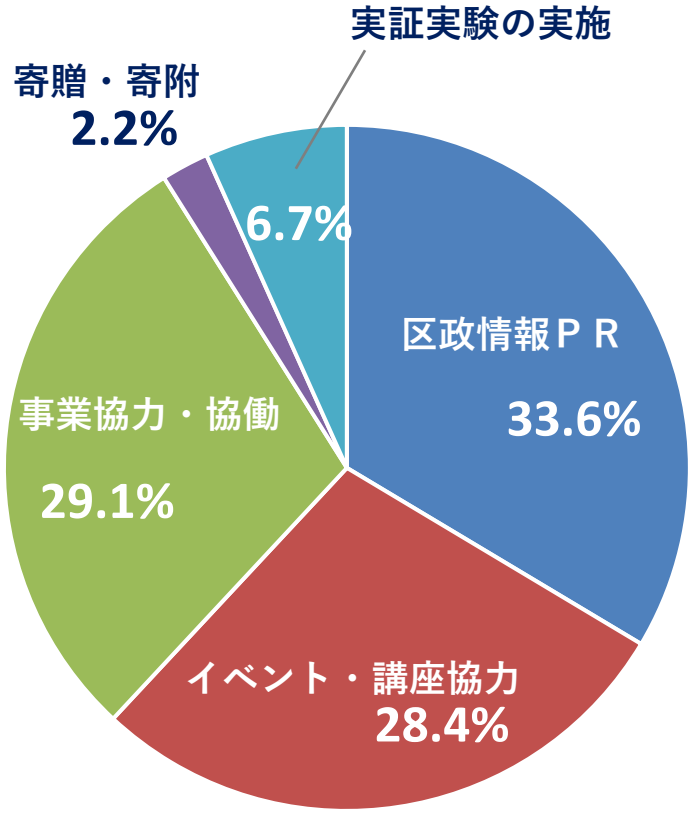
実績一覧については別紙(P11～)参照

民間提案による実施件数（134件）の内訳

民間提案による実施件数134件の内訳は、「区政情報PR」が45件で最も多く、次いで「事業協力・協働」が39件、「イベント・講座協力」が38件、となった。令和6年度の実績と比べると、「実証実験の実施」件数の伸びが顕著となった。これは、令和7年度より開始した「世田谷区実証実験提案制度」の成果によるものと、「世田谷区実証実験提案制度」を活用せずとも実施できる無償での実証実験の提案が増えたことに起因していると考えられる。

連携ジャンル	R7件数	R6件数	R7割合	R6割合
① 区政情報ＰＲ	↑ 45	41	33.6%	34.7%
② イベント・講座協力	38	39	28.4%	33.1%
③ 事業協力・協働	↑ 39	31	29.1%	26.3%
④ 寄贈・寄附	3	4	2.2%	3.4%
⑤ 実証実験の実施	↑ 9	2	6.7%	1.7%
合計	134	118		

※令和６年度には連携ジャンル「その他」１件（0.8%）あり



官民連携事例

デフリンピックの気運醸成に関する連携（スターバックス コーヒー ジャパン株式会社）

■ 政策経営部・スポーツ推進部・障害福祉部 ■

駒沢オリンピック公園が競技会場となった「第25回夏季デフリンピック競技大会　東京2025」を盛り上げるため、近隣の駒沢1丁目店にて、NPO法人世田谷区聴覚障害者協会、区との3者で連携し、手話ワークショップ（全６回）を実施した。さらに、店舗内のコミュニケーション（あいさつや注文など）を手話や指差し、筆談を通じて行うことで、聞こえる・聞こえないにかかわらず、誰もが「ここが自分の居場所」と感じていただけるようにする「サイニングデー」を大会期間中に実施し、手話を身近に感じてもらう取組みを行った。店内（駒沢1丁目店・駒沢パーククォーター店）のコミュニティボードでは大会のカウントダウンや周知に協力いただいた。また、大会期間中に駒沢オリンピック公園で開催された都主催イベント「スポーツFUN　PARK」では、スターバックスの出展ブースにて、聴覚障害者協会と区が参画し、手話によるコーヒーテイスティングを行った。

官民連携事例

地域コミュニティアプリ「common」を用いた連携（東急株式会社）

■ 地域行政部 ■

まちづくりへの参加と協働の促進及びコミュニティの活性化を図ることを目的とし、「地域コミュニティアプリ『common』を用いた連携に関する協定」を締結（令和7年6月19日）。エリアごとに個人や団体等が地域に密着した情報を発信し、日々、情報共有、情報交換等が活発に行われている。イベント情報を通じてイベントに参加した方同士が知り合いになるなど、地区のコミュニティの形成にもつなげる。

家庭部門の脱炭素行動を促すための実証実験（Nature株式会社）

■ 環境政策部 ■

家電の自動制御や節電アドバイス通知による「無理せず継続できる省エネ」の実現を目指し、Nature株式会社と共同でデジタルデバイスを使った「電力見える化」や「家電コントロール」による省エネの実証実験を実施。

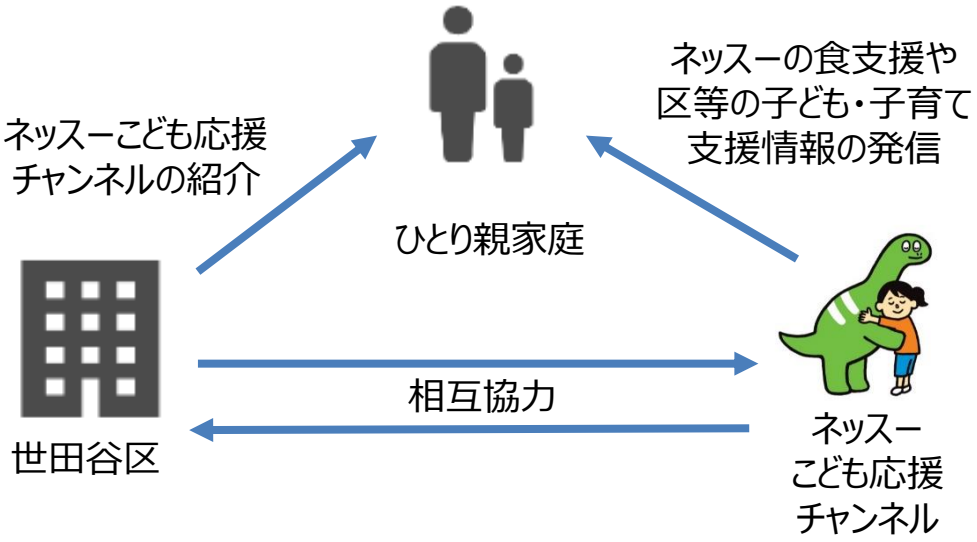
本事業については、東京都によるスタートアップ連携事業「UPGRADE with TOKYO」を活用し、ピッチイベントにおいてスタートアップの協働事業者を決定している。

官民連携事例

子どもの貧困対策事業における相互情報発信（ネッスー株式会社）

■ 子ども・若者部 ■

区の支援につながる仕組みの強化を図ることを目的とし、子どもの機会格差が存在しない社会の実現を目指すネッスー株式会社と、「子どもの貧困対策における支援につながる仕組みの強化に向けた相互協力に関する協定」を締結（令和7年8月20日）。区は、同社によるひとり親家庭等への地域子育て・子ども支援情報を配信するLINEコミュニティについて、区民へ周知するとともに、同コミュニティでは、区が実施する子どもの貧困対策に係る支援・サービス等を周知し、相互に連携・協力する。



「世田谷区民のITスキル向上のための包括協定」の締結（株式会社セック）

■ 経済産業部 ■

区民のITスキル向上に取り組み、IT分野での人材育成やキャリア教育の充実を図るため、包括協定を締結（令和7年2月25日）。小中学生等を対象としたITスキル向上に関すること、ひきこもりや未就業者等を対象としたITスキル向上に関すること、未就業者や非正規雇用等で就労する方を対象としたITビジネススキル向上に関することについて、連携し取り組む。

官民連携事例

提案型プロジェクトチームとの連携（リコーブラックラムズ東京）

■ 政策経営部 ■

庁内から職員を募集し一定期間活動を行う「提案型プロジェクトチーム制度」において、世田谷区をホストエリアとするラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」と連携したPTを発足。区役所ブラックラムズデーや各種広報への活用、ホストゲーム連携イベント等を実施し、区政PRの強化とブラックラムズの認知度向上の両立やスポーツを通じた地域活性化を図っている。

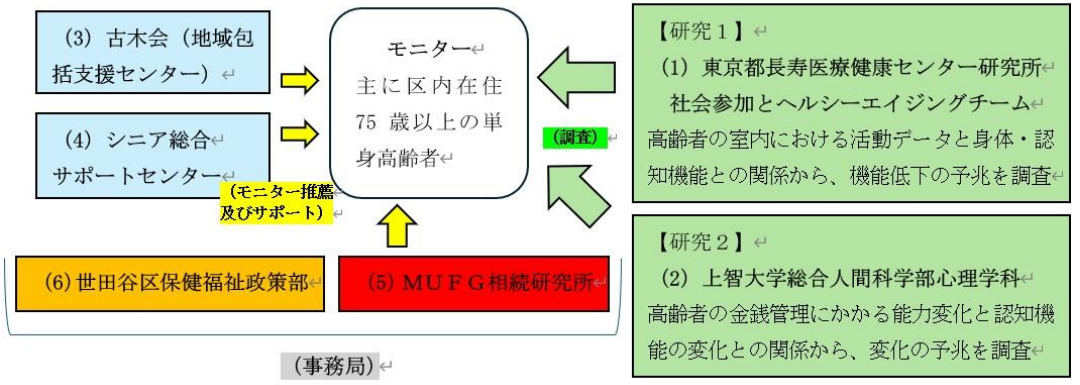
高齢者の機能低下の予兆調査の連携に関する協定の締結

■ 保健福祉政策部 ■

高齢者の身体及び認知機能低下と金銭管理能力の変化に係る検証を行うことで、高齢者の日常生活支援や介護予防政策に活かすことを目的とし、研究機関等６者※による協定を締結（令和8年1月6日）。区内在住の75歳以上の単身高齢者約50名を対象に、自宅にモーションセンサー等を設置し、室内の活動データを収集し、分析する。年１回、健康診断により運動機能と認知機能を検査するとともに、金銭管理能力のアセスメントを行い、両者の相関性を検証する。令和8年から3年間実施する。

※地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、学校法人上智学院、社会福祉法人古木会、公益社団法人シニア総合サポートセンター、三菱UFJ信託銀行株式会社、世田谷区

6者の関係図と連携内容



実証実験提案制度の活用状況

令和7年度より、民間企業等からの効果的な提案や所管課のチャレンジングな取組みを積極的かつ迅速に実施できるよう、区も一部経費（50万円を超えない金額）を負担しながら実施する、新たな実証実験提案制度を開始。対象事業は、区民サービスの向上、事務の改善・効率化、財源や人材など経営資源の最適化・効率化等の効果が期待されるが、事業の実現性や事業効果の検証が必要なものとし、以下の通り募集のうえ、実証実験を行った。

	募集期間	テーマ数	提案件数	
			テーマ設定型	民間提案型
1回目	令和7年1月21日～2月19日	1件	1件	5件
2回目	令和7年4月1日～4月30日	0件	ー	4件
3回目	令和7年5月13日～6月18日	2件※	1件	6件

※テーマ数2件のうち、1件は提案の応募が無かったため、来年度も募集を継続する。

提案件数合計　17件

提案採否結果

◆テーマ設定

採用 2件

◆民間提案型

採用 1件 / 事前対話で終了 14件

≪事前対話で終了の主な理由≫

- 区の課題解決にマッチしない
- 実証実験の趣旨に適合しない
- 既に類似事例を実施中のため、実証に適さない

実証実験提案制度での採用事例

『歩行支援システム』に関する実証実験の実施

★テーマ設定型

所管課：庁舎整備担当部

提案者：W&Mシステムズ合同会社

「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」の実現に向けた、既存の点字ブロックを活用した新たなシステムの実証

オンラインプラットフォーム開設に関する実証実験の実施

★テーマ設定型

所管課：子ども・若者部

提案者：株式会社Liquitous

区政への反映に向け、より多くの、多様な子ども・若者の意見を集めるためのオンラインプラットフォームの実証

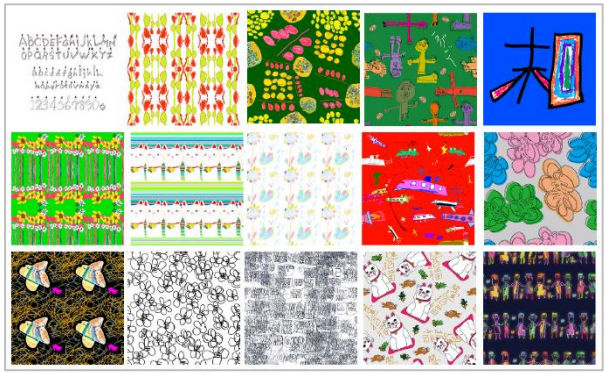
世田谷フォントに関する実証実験の実施

★民間提案型

所管課：障害福祉部

提案者：株式会社フクフクプラス

障害者施設で働く障害者の工賃向上に向け、区での「世田谷フォント」利用を通じた実証



令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順

令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
1	アイカタ株式会社 いいほいくえん用賀本園	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	野菜が苦手でも食べたくなるような保育園の給食メニューを栄養士と一緒に考えて作る講座を実施（令和7年7月22日、8月22日）。	教育総合センター
2	アサヒ飲料株式会社	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	アサヒ飲料カルピス恵比寿ビルのオフィスでスタッフが働く様子や自動販売機の仕組みを学ぶとともに、水や環境の大切さを学び、それらを守るために自身でできることを考える講座を実施（令和7年8月28日、8月29日）。	教育総合センター
3	アサヒ飲料株式会社	2．イベント・講座協力	出張授業	区立世田谷小学校５年生を対象に、「ジュース作りと熱中症対策」についての出張授業を実施（令和7年7月3日、9月8日）	教育総合センター
4	株式会社UPDATER	5．実証実験の実施	hamon bandの寄贈および実証の実施	区内の公共施設などを対象に、ウェアラブルデバイスを活用した熱中症リスクの可視化を行う実証実験を実施。屋外で活動する区職員を対象とし、熱中症リスクを把握する契機とすることにより、区としても熱中症対策へのアプローチの道筋を探る。	政策経営部
5	イッツ・コミュニケーションズ株式会社	3．事業協力・協働	世田谷地域 防災フェアへのブース出展	出展ブースにて、防災ポケットカード工作、災害時のラジオアナウンサー体験を実施（令和8年3月14日）。	世田谷総合支所
6	株式会社イマックス	3．事業協力・協働	デフリンピックの普及啓発に向けた連携	駒沢オリンピック公園内で一部競技が実施される「25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」を盛り上げるため、令和7年11月11日にオープンした商業施設「駒沢パーククォーター」の1階にて、デフリンピックの普及啓発を実施。	政策経営部
7	WE MAKE ENERGY株式会社	3．事業協力・協働	太陽光発電設備設置（創エネ）相談窓口	太陽光発電設備のCM（コンストラクションマネジメント）事業者と連携し、建物の大規模改修や改築を行う事業者や区民に対し、太陽光発電設備導入の経済的メリットや環境価値を伝えつつ導入に向けたコンサルテーションを行うことで、潜在的な創エネ需要を発掘する。	環境政策部
8	WOTA株式会社	3．事業協力・協働	水循環手洗いスタンドの導入	水循環型手洗いスタンド「WOSH」を導入し、区民会館のエントランスホールへ設置。企業側で被災地に機体を貸し出すネットワークの構築がされており、災害時には、WOTA製品に関して他自治体と相互での支援を行うことが可能である。	政策経営部
9	株式会社８１プロデュース	3．事業協力・協働	新BOP指導員（会計年度任用職員）の募集動画の作成	新BOP指導員の募集に向けて、活動内容や魅力をより分かりやすく伝えるため、東京都市大学の学生との協働でアニメーションを制作。アニメーションに登場するキャラクターの声は、８１プロデュースに所属する声優に声をあててもらい、作品を仕上げた。	子ども・若者部
10	株式会社エナーバンク	3．事業協力・協働	再エネ電力共同購入・リバースオークション	世田谷区内の事業者に向けたリバースオークションによる再エネ電力の調達、区施設の再エネ電力調達におけるリバースオークション、世田谷区内の家庭・事業者（低圧）の再エネ電力共同購入事業の実施。	環境政策部
11	FC東京（東京フットボールクラブ株式会社）	2．イベント・講座協力	出張授業	選手会主体のホームタウン活動として、上北沢小学校を、同校出身の佐藤恵允選手のほか、安斎颯馬選手、橋本拳人選手が訪問し、６年生と運動しながらの交流を実施（令和7年7月1日）	教育総合センター
12	株式会社オオゼキ	1．区政情報ＰＲ	区事業に関するチラシ配架・ポスター掲示協力	区事業に関するポスターの掲示・チラシの配架協力（新BOP指導員募集、里親普及啓発）。	政策経営部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順

令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
13	大塚製薬株式会社	3．事業協力・協働	エフエム世田谷を使った熱中症予防、啓発	大塚製薬株式会社と協力してエフエム世田谷にて熱中症予防、啓発に関する放送を実施。（放送日令和７年8月13日）	世田谷保健所
14	大塚製薬株式会社	2．イベント・講座協力	熱中症対策アンバサダー講座の実施	区職員が熱中症や熱中症予防に関する知識を学び、職務において、職員自身を含めた周囲への熱中症予防行動に寄与することを目的として、熱中症対策アンバサダー養成講座（オンライン）を実施し、約100名受講修了。（令和7年8月）	世田谷保健所
15	大塚製薬株式会社	4．寄贈・寄附	熱中症予防、啓発に関する取組み	熱中症予防への協力として、お休み処施設で区民に配布する電解質飲料（イオンウォーター）300ケースを寄贈。	世田谷保健所
16	大塚製薬株式会社	3．事業協力・協働	熱中症予防、啓発に関する取組み	熱中症予防啓発を目的として、大塚製薬株式会社と連携し作成した啓発ポスターを作成、掲示。（令和7年6月中旬～9月末）	世田谷保健所
17	大塚製薬株式会社 NPO法人気象キャスターネットワーク	3．事業協力・協働	熱中症予防、啓発に関する取組み	大塚製薬株式会社及びNPO法人気象キャスターネットワークとの協力により作成した熱中症予防啓発動画をせたがや動画（Youtube区公式チャンネル）で配信。（令和7年6月16日～10月22日）	世田谷保健所
18	小田急電鉄株式会社	1．区政情報ＰＲ	区事業に関するチラシ配架・ポスター掲示協力	区事業に関するチラシ配架・ポスター掲示の協力（里親普及啓発、デジタルポイントラリー、住まいの防犯対策サポート事業、「里親子フレンドリーシティへ。」、国勢調査員募集、ふるさと納税を活用した学校改築支援、犯罪ゼロの日、世田谷たがいちがいプロジェクト、子どもの虐待防止推進講演会、ラグビーフェスティバル等）。	政策経営部
19	株式会社小田急SCディベロップメント	4．寄贈・寄附	子どもギフトの寄贈	小田急SCディベロップメントが運営する経堂コルティ・成城コルティの顧客から不用品を回収し、その査定額をもとにドッジボール26個と絵本98冊を購入し、区に寄附する取組みを実施。	教育政策・生涯学習部 子ども・若者部
20	株式会社小田急SCディベロップメント	3．事業協力・協働	広報誌・SNS等の広報媒体への取材協力、及び事業参画	脱炭素地域づくり事業への参画や、広報誌「SEIJO GREEN CITY」、インスタグラムでの取材協力、取組み内容の掲載を実施。	環境政策部
21	株式会社オルタナティブテクノロジー＆プロダクツ	5．実証実験の実施	住宅用フレキシブルソーラーの実装	基本合意（令和6年10月17日）を基に、薄型軽量型の太陽光モジュールを区民モニター住宅に設置（４件）。発電状況や施工状況の検証、既存住宅のおける再エネ普及に向けて協議を継続。	環境政策部
22	カイテク株式会社	3．事業協力・協働	介護事業者スポットワーク支援助成事業への登録	区が実施する「世田谷区介護事業者スポットワーク支援助成事業」に参加し、介護事業所におけるスポットワークの活用促進に取り組む事業者として登録。	高齢福祉部
23	株式会社加賀谷商会	5．実証実験の実施	カラスバイバイの実証実験	区内のカラス被害が確認されているエリアのごみ集積所にて、オーロラフィルムを活用した「カラスバイバイ」を設置し、カラス被害が減少するかどうかの実証実験を行った。	清掃・リサイクル部
24	社会福祉法人菊清会　さくらしんまち保育園	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	保育園で園児との関わり方を学びながらスタッフと一緒に活動する取組みを実施（令和7年8月6日、8月7日、8月8日）。	教育総合センター
25	一般社団法人旧尾崎邸保存プロジェクト	3．事業協力・協働	世田谷区ふるさと納税イラストコンテストの連携	区へふるさと納税（寄附）を募るため、一般社団法人旧尾崎邸保存プロジェクトとの連携により、「世田谷区ふるさと納税イラストコンテスト」を開催。区に在住、在学、在勤の18歳以下の方を対象にイラストを募集。選ばれた作品は、広報紙やポスターなど様々な場面で使用する。	政策経営部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順

令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
26	京王電鉄株式会社	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	井の頭線車両の安全機能や、運転士や車掌が安全運行のために心がけていることを学び、鉄道の安全について考える講座を実施（令和7年8月26日）。	教育総合センター
27	警視庁 東京商工会議所	2．イベント・講座協力	地域企業等のサイバーセキュリティ意識の向上及びサイバー犯罪による被害の防止を図る取組み	地域企業等のサイバーセキュリティ意識の向上及びサイバー犯罪による被害の防止を図るサイバーセキュリティ―セミナーを開催（令和7年8月28日）。	経済産業部
28	区内建設業企業9社、一般財団法人建設業振興基金	3．事業協力・協働	都立世田谷泉高校における建設業魅力発信事業への協力	都立高校の生徒向けに建設業魅力発信を目的とした授業を実施するにあたり、区内建設企業9社にパネルディスカッションや仕事体験の協力を依頼し実施。授業資料は、一般財団法人建設業振興基金に提供を依頼した。	経済産業部
29	サミット株式会社	3．事業協力・協働	災害時における物資の提供に関する協定締結	災害時等において区が行う物資の調達の支援について、「災害時における物資の提供に関する協定」を締結した（令和7年5月1日）。	危機管理部
30	シェアフル株式会社	3．事業協力・協働	介護事業者スポットワーク支援助成事業への登録	区が実施する「世田谷区介護事業者スポットワーク支援助成事業」に参加し、介護事業所におけるスポットワークの活用促進に取り組む事業者として登録。	高齢福祉部
31	JA世田谷目黒 JA東京中央	3．事業協力・協働	事業チラシ等の配架協力	脱炭素地域づくりチラシの配架協力及び組合員等への資料送付協力。	環境政策部
32	JPロジスティクス株式会社	3．事業協力・協働	災害時における輸送業務等の協力に関する協定締結	災害発生時の物資輸送や一時保管先の提供、荷役作業等に関する協力について「災害時における輸送業務等の協力に関する協定」を締結（令和7年7月2日）。	危機管理部
33	株式会社JERA Cross TRENDE株式会社 全国農業協同組合連合会 全農エネルギー株式会社	5．実証実験の実施	住宅地におけるP2P個人間電力取引及びDR等を活用した地産地消ネットワーク構築事業	基本合意（令和6年10月17日、令和7年6月2日）を基に、区内の住宅用太陽光発電による余剰電力を買い取り、電気プランとして区民に電気供給する実証事業を開始（～令和9年3月まで）。 参加する区民モニターの電力需給や利用実績等を分析・効果検証を行い、住宅地における社会実装に向けて検討を継続。	環境政策部
34	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社	3．事業協力・協働	スポーツFUN　PARKでの協働	令和7年11月22～24日に開催されたスポーツFUN PARKにて、世田谷区聴覚障害者協会と連携し、誰もが居場所と感じられる体験づくりを目的に、コーヒーテイスティング（試飲配布）を実施した。	政策経営部
35	スターバックスコーヒージャパン株式会社	3．事業協力・協働	認知症カフェの協働実施	あんしんすこやかセンターが実施する認知症カフェ「ほっとカフェ」をスターバックス コーヒー （玉川高島屋S・C店、二子玉川ライズ ドッグウッドプラザ店、世田谷ビジネススクエア店、用賀店）との連携にて実施。	政策経営部
36	スターバックスコーヒージャパン株式会社	3．事業協力・協働	里親カフェの実施	里親の認知度を向上させるため、里親にも参加してもらう里親カフェを、スターバックス コーヒー 玉川高島屋S・C店にて開催。	政策経営部
37	スターバックスコーヒージャパン株式会社	3．事業協力・協働	手話ワークショップ・サイニングデーの実施	駒沢オリンピック公園内で一部競技が実施される「東京2025デフリンピック」の普及啓発および聴覚障害者の方が自分の居場所と感じられるような空間づくりを目指し、会場近隣のスターバックス コーヒー 駒沢1丁目店にて、世田谷区聴覚障害者協会の協力のもと、手話ワークショップ（全6回）およびサイニングデー（「手話」に触れられる日）を実施した。	政策経営部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順　　令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
38	スターバックスコーヒージャパン株式会社	1．区政情報ＰＲ	デフリンピックの周知	・スターバックス コーヒー 駒沢1丁目店および駒沢パークキォーター店　店舗内にて、デフリンピック開催に向けたカウントダウンの実施。 ・駒沢パークキォーターの一画にて、チョークボードアートによる周知を行った。（駒沢パークキォーター店のPTRの方　製作）	政策経営部
39	社会福祉法人世田谷共育舎　芦花の丘かたるぱ保育園	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	保育園で園児との関わり方を学びながらスタッフと一緒に活動する取組みを実施（令和7年8月20日、8月21日）。	教育総合センター
40	セコム株式会社	3．事業協力・協働	ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業への登録	区が実施する「ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業」に参加し、緊急通報型の見守り機器として「セコムみまもりホン2」を登録。	高齢福祉部
41	株式会社セック	3．事業協力・協働	「世田谷区民のITスキル向上のための包括協定」の締結	区民のITスキル向上に取り組み、IT分野での人材育成やキャリア教育の充実を図るため、包括協定を締結（令和7年2月25日）。小中学生等区民を対象としたITスキル向上に関すること、ひきこもりや未就業者等の区民を対象としたITスキル向上に関すること、未就業者の区民や非正規雇用等で就労する区民を対象としたITビジネススキル向上に関することについて、連携し取り組む。	経済産業部
42	専修学校　日本菓子専門学校	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	プロの和菓子職人と一緒に練り切りを作り、和菓子作りの魅力を伝えるために、美味しくて見た目も素敵な和菓子を考える講座を実施（令和7年12月6日）。	教育総合センター
43	ソニー銀行株式会社	2．イベント・講座協力	出張授業	金融教育について区内小学校にて出張授業を実施（令和7年11月19日 砧南小学校）。	教育総合センター
44	株式会社ソルクシーズ	3．事業協力・協働	ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業への登録	区が実施する「ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業」に参加し、センサー型・生活リズム型の見守り機器として「いまイルモ」を登録。	高齢福祉部
45	損害保険ジャパン株式会社	2．イベント・講座協力	世田谷地域 防災フェアへのブース出展	出展ブースにて、ポリ袋によるポンチョづくり体験、水害きせかえゲーム、マスコットキャラクターの「ジャパンダ」との記念撮影、防災バンダナのプレゼントを実施（令和8年3月14日）。	世田谷総合支所
46	第一生命保険株式会社	2．イベント・講座協力	「せたがや健康フェス2025」へのブース出展	令和7年7月21日に開催された「せたがや健康フェス2025」にて、ブースを出展し、血管年齢測定・握力測定・ストレスチェックを実施。幅広い年代を対象にまで測定や測定値に応じた健康アドバイスを行うことにより健康づくりに関する啓発を行った。	世田谷保健所
47	第一生命保険株式会社	1．区政情報ＰＲ	「せたがや健康フェス2025」および「健康せたがやプラス１」の周知協力	7月に「せたがや健康フェス2025」および「健康せたがやプラス１」の周知啓発のため、第一生命保険株式会社の営業社員が区内の顧客向けに、本事業の周知活動を実施。	世田谷保健所
48	第一生命保険株式会社	1．区政情報ＰＲ	「女性の健康づくり週間」および「世界腎臓デー・CKD（慢性腎臓病）」の周知協力	3月に「女性の健康づくり週間」および「世界腎臓デー・CKD（慢性腎臓病）」の周知啓発のため、第一生命保険株式会社の営業社員が区内の顧客向けに、本事業の周知活動へ協力を依頼する予定。	世田谷保健所
49	第一生命保険株式会社	1．区政情報ＰＲ	区事業の案内・チラシ配布協力	区事業の案内・チラシ配布協力（「近居・同居推進助成事業制度」、デジタルポイントラリー、住まいの防犯対策サポート事業）。	政策経営部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順　　令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
50	第一生命保険株式会社	2．イベント・講座協力	出張授業	「ライフサイクルゲーム」について区内中学校にて出張授業を実施予定（令和7年12月 千歳中学校）。	教育総合センター
51	第一生命保険株式会社	2．イベント・講座協力	SETAGAYA Qs-GARDENの活用	世田谷キューズガーデンタウンマネジメントクラブ（第一生命保険株式会社等）主催の地域住民交流イベント「ウェルビーイングフェスタ」にて、在宅避難コーナーを展開し、来場者へチラシを配付するなど在宅避難啓発を実施した（令和7年5月17日）。	烏山総合支所
52	株式会社タイミー	3．事業協力・協働	介護事業者スポットワーク支援助成事業への登録	区が実施する「世田谷区介護事業者スポットワーク支援助成事業」に参加し、介護事業所におけるスポットワークの活用促進に取り組む事業者として登録。	高齢福祉部
53	株式会社髙島屋（玉川髙島屋）	1．区政情報ＰＲ	児童館PRリーフレットの配架協力	子ども服売り場内への、マタニティ・乳幼児家庭向けの児童館PRリーフレットの配架協力。	子ども・若者部
54	株式会社髙島屋（玉川髙島屋）	1．区政情報ＰＲ	里親普及啓発に関するチラシ配架協力	里親普及啓発に関するチラシの配架協力。	子ども・若者部
55	W&Mシステムズ合同会社	5．実証実験の実施	歩行支援システムに関する実証実験（実証実験提案制度活用）	本庁舎等整備の基本的方針の1つである、「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」の実現に向け、既存の点字ブロックに記号を付けてコード化し、スマートフォンで読み取ると音声案内を行う歩行支援システムの有用性を検証する実証実験を実施した。	庁舎整備担当部
56	株式会社ディライトブリッジング	3．事業協力・協働	高齢者見守り協定の締結	行政による支援が必要な高齢者の世田谷区による早期把握を図り、もって必要な支援を適切に行うことを目的として、「世田谷区における支援が必要と思われる高齢者に係る情報の提供に関する協定」を締結（令和7年8月29日）。	高齢福祉部
57	一般社団法人デジタル創続推進機構	3．事業協力・協働	終活等相談ポータルサイト	「ポータルサイトによる終活等の相談事業の実施に関する協定」を締結し、遺品整理や葬儀の方法などの一般的な相談から、遺産相続など弁護士や司法書士等による専門的な相談に至るまで、広範で複合的な内容の終活相談をＡＩにより対応するサービスを導入。	政策経営部
58	Terra Charge 株式会社	3．事業協力・協働	EV充電設備の設置及び運用	「公共施設における電気自動車公共用充電設備の設置及び運用事業に関する協定」（令和5年10月10日締結）に基づき、玉川総合支所、教育相談センター、児童相談所、みどり会館に設置しているEV充電設備の運用を実施。	環境政策部
59	東急株式会社	5．実証実験の実施	地域ファンづくり事業の実証	基本計画の理念である「参加と協働」のまちづくりを加速させ、地域参画度を向上させることを目的として、地域ファンづくりのためのマッチングプラットフォーム「ツクリテ」の実証を開始。Webプラットフォームを通じて様々な世代・住民ニーズに沿ったコンテンツを提供し、地域内外の人々が参加・参画することで“地域ファン”（担い手になりうる人）を増やし、地域コミュニティの活発化を目指す。	政策経営部
60	東急株式会社	3．事業協力・協働	地域コミュニティアプリ「common」を用いた連携	まちづくりへの参加と協働の促進及びコミュニティの活性化を図ることを目的とし、「地域コミュニティアプリ「common」を用いた連携に関する協定」を締結（令和7年6月19日）。地区情報の発信に加え、commonボックスの設置や、パンフレット等の配架にも協力し合う。	地域行政部
61	東急グループ	1．区政情報ＰＲ	SDGsトレインへのポスター掲示	東横線・田園都市線・目黒線・東急新横浜線・世田谷線および相互直通区間において、SDGsを啓発する目的で運行しているラッピング広告列車「SDGsトレイン」の車内に、区の取組みに関するポスターを掲示。	政策経営部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順　　令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
62	東急グループ	1．区政情報ＰＲ	東急世田谷線へのポスター掲示	世田谷の地場野菜である「大蔵大根」ポスターを東急世田谷線ドア上に掲示（令和7年11月28日～12月25日）。	経済産業部
63	東急セキュリティ株式会社	3．事業協力・協働	ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業への登録	区が実施する「ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業」に参加し、緊急通報型・センサー型の見守り機器として「置くだけ見まもりSAFE-1」を登録。	高齢福祉部
64	東急電鉄株式会社	1．区政情報ＰＲ	区事業に関するチラシ配架・ポスター掲示協力	区事業に関するチラシ配架・ポスター掲示の協力（里親普及啓発、新BOP指導員募集、デジタルポイントラリー、住まいの防犯対策サポート事業、「里親子フレンドリーシティへ。」、国勢調査員募集、ふるさと納税を活用した学校改築支援、犯罪ゼロの日、陶芸窯応援プロジェクト、世田谷たがいちがいプロジェクト、ラグビーフェスティバル等）。	政策経営部
65	株式会社東急パワーサプライ TGオクトパスエナジー株式会社 出光興産株式会社 株式会社UPDATER 株式会社生活クラブエナジー しろくま電力株式会社 株式会社ジェイコム東京	3．事業協力・協働	再エネでんき切り替えキャンペーン	世田谷区内の家庭に向け、再エネ電力への切り替えた方に対して電気代の割引等の還元を行うキャンペーンを企業と協働で実施。	環境政策部
66	東急リバブル株式会社	1．区政情報ＰＲ	「近居・同居推進助成事業制度」の周知協力	「近居・同居推進助成事業制度」に関する案内・チラシの配架協力。	政策経営部
67	東京海上日動火災保険株式会社	1．区政情報ＰＲ	区事業に関する周知協力	区事業に関する周知の協力（住まいの防犯対策サポート事業の案内、再エネでんき切り替えキャンペーン等、再生可能エネルギーの普及促進に係る啓発チラシの配布・配架協力）。	政策経営部
68	東京海上日動火災保険株式会社	2．イベント・講座協力	地域企業等のBCP（事業継続計画）の重要性の認識に向けた取組み	新たな感染症や首都直下地震等のリスクに備え、社員の安全を守り事業を迅速に再開するためのBCPセミナーを開催（令和8年3月2日予定）。	経済産業部
69	東京ガス株式会社	3．事業協力・協働	環境出前授業の実施	2050年までのCO2排出量実質ゼロの脱炭素化社会の実現に向けた長期的な取組みとして、令和７年度より新たに民間企業等による環境出前授業を実施。令和7年11月28日に代田小学校にて、小学校5年生（2クラス、計62人）を対象に東京ガス株式会社による「燃料電池ってなんだろう？」を実施予定。	環境政策部
70	公益社団法人　東京青年会議所世田谷区委員会	2．イベント・講座協力	出張授業	2025年地区事業として、区立京西小学校５年生を対象にエニアグラム診断を活用した教育プログラムを実施（令和7年7月4日、7月14日）	教育総合センター
71	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 学校法人上智学院 社会福祉法人古木会 公益社団法人シニア総合サポートセンター 三菱UFJ信託銀行株式会社	3．事業協力・協働	高齢者の機能低下の予兆調査の連携に関する協定の締結	高齢者の身体及び認知機能低下と金銭管理能力の変化に係る検証を行うことで、高齢者の日常生活支援や介護予防政策に活かすことを目的とし、研究機関等６者※による協定を締結（令和8年1月6日）。区内在住の75歳以上の単身高齢者約50名を対象に、自宅にモーションセンサー等を設置し、室内の活動データを収集し、分析する。年１回、健康診断により運動機能と認知機能を検査するとともに、金銭管理能力のアセスメントを行い、両者の相関性を検証する。令和8年から3年間実施する。	保健福祉政策部
72	トヨタモビリティ東京株式会社	1．区政情報ＰＲ	再生エネルギーに関するチラシ配架協力	再エネでんき切り替えキャンペーン等、再生可能エネルギーの普及促進に係る啓発チラシの配布・配架協力を実施。	環境政策部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順　　令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
73	トヨタモビリティ東京株式会社	1．区政情報ＰＲ	区事業に関するチラシ配架・ポスター掲示協力	住まいの防犯対策サポート事業チラシの配架、世田谷たがいちがいプロジェクトポスターに関する掲示協力。	政策経営部
74	日本生命保険相互会社	1．区政情報ＰＲ	区事業の案内・チラシ配布協力	区事業の案内・チラシ配布協力（「近居・同居推進助成事業制度」、デジタルポイントラリー、住まいの防犯対策サポート事業）。	政策経営部
75	日本放送協会	2．イベント・講座協力	トークショー「NHK手話ニュースキャスターがやってきたin世田谷」の開催	世田谷区手話言語条例制定1周年・東京2025デフリンピック開催記念事業として、「ＮＨＫ手話ニュースキャスターがやってきたin世田谷」を開催。NHK手話ニュースに出演中のキャスターたちがお届けする、聞こえる人もろう者も難聴者も楽しめる手話エンターテイメント・トークショーを実施した（令和7年5月25日）。	障害福祉部
76	Nature株式会社	3．事業協力・協働	消費電力の見える化	東京都によるスタートアップとの連携事業「UPGRADE with TOKYO」を活用し、家庭用省エネ支援機器の有効性実証実験を実施。複数の企業から行政課題に応じる取り組み提案を受け、ピッチイベントにおいて協働事業者を決定し、デジタルデバイスを使った「電力見える化」や「家電コントロール」による省エネについて、区民からモニターを募集し、実施した。	環境政策部
77	合同会社ネコリコ	3．事業協力・協働	ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業への登録	区が実施する「ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業」に参加し、センサー型・生活リズム型の見守り機器として「まもりこ(振動センサー)」を登録。	高齢福祉部
78	ネッスー株式会社	3．事業協力・協働	ひとり親家庭に向けた支援情報の相互発信の連携	子どもの貧困対策計画に基づく、区の支援につながる仕組みの強化を図ることを目的とし、「子どもの貧困対策における支援につながる仕組みの強化に向けた相互協力に関する協定」を締結（令和7年8月20日）。	子ども・若者部
79	株式会社フクフクプラス	5．実証実験の実施	ご当地フォント活用に関する実証実験（実証実験提案制度活用）	障害者施設で働く障害者の更なる工賃向上のため、世田谷フォントを活用した実証実験を行った。	障害福祉部
80	FRESH CHEESE STUDIO（フレッシュチーズスタジオ）	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	工房見学やチーズ作り、牧場の話などを通じて、できたてチーズの工房の魅力を地域に広げるためのワークをする講座を実施（令和7年11月29日）。	教育総合センター
81	株式会社ベジリンク	2．イベント・講座協力	区立保育園給食担当者（調理師・栄養士）向けの食育講座	区立保育園給食担当者（主として調理師・栄養士）向けに、子どもたちに食育を実施する際のポイントなどについて、講義およびディスカッションを実施。	子ども・若者部
82	株式会社ベネッセキャリオス	3．事業協力・協働	介護事業者スポットワーク支援助成事業への登録	区が実施する「世田谷区介護事業者スポットワーク支援助成事業」に参加し、介護事業所におけるスポットワークの活用促進に取り組む事業者として登録。	高齢福祉部
83	Polimill株式会社	5．実証実験の実施	AIツールの実証導入	業務の効率化を図るため、「コモンズAI」を無償導入。政策・政府発表資料、学術論文・調査報告書、日本・各国ホワイトペーパー、省庁や各自治体の情報に加え、区のオープンデータを学習した生成AIを活用し、公共サービスをサポートする。	政策経営部
84	株式会社ホンダモビリティ南関東	1．区政情報ＰＲ	再生エネルギーに関するチラシ配架協力	再エネでんき切り替えキャンペーン等、再生可能エネルギーの普及促進に係る啓発チラシの配布・配架協力を実施。	環境政策部
85	株式会社みずほ銀行	1．区政情報ＰＲ	国勢調査員募集ポスター掲示協力	国勢調査員募集ポスターの掲示協力。	政策経営部

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順

令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
86	三井住友海上火災保険株式会社	2．イベント・講座協力	地域企業等のSDGs推進に向けた取組み	人材確保のためのSDGs経営セミナー・ワークショップを開催（令和7年5月22日）。	経済産業部
87	三井住友海上火災保険株式会社	2．イベント・講座協力	世田谷地域 防災フェアへのブース出展	出展ブースにて、EV車両の非常電源活用方法の紹介、車載用防災グッズなどの案内を実施（令和8年3月14日）。	世田谷総合支所
88	三井不動産リアルティ株式会社	1．区政情報ＰＲ	「近居・同居推進助成事業制度」の周知協力	「近居・同居推進助成事業制度」に関する案内・チラシの配架協力。	政策経営部
89	学校法人村川学園　東京山手調理師専門学校	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	食フェス『世田谷グルマンサミット』で販売する美味しい焼き菓子のアイデアを考え、オリジナルクッキーを作り、実際に販売する取組みを実施（令和7年8月18日、8月19日）。	教育総合センター
90	株式会社 明治	2．イベント・講座協力	出張授業	「見直そう！水分補給」について区内中学校にて出張授業を実施（令和7年5月14日 玉川中学校、令和7年7月23日 駒沢中学校）。	教育総合センター
91	株式会社 明治	2．イベント・講座協力	出張授業	「ヨーグルトのひみつ」について区内小学校にて出張授業を実施（令和7年6月13日 山野小学校）。	教育総合センター
92	株式会社 明治	2．イベント・講座協力	出張授業	「希望のチョコレート」について区内中学校にて出張授業を実施（令和7年10月1日 梅丘中学校）。	教育総合センター
93	株式会社 明治	2．イベント・講座協力	出張授業	「元気が出る朝ごはん」について区内小学校にて出張授業を実施（令和7年12月10日 松原小学校）。	教育総合センター
94	明治安田生命保険相互会社	1．区政情報ＰＲ	区事業の案内・チラシ配布協力	区事業の案内・チラシ配布協力（「近居・同居推進助成事業制度」、デジタルポイントラリー、住まいの防犯対策サポート事業）。	政策経営部
95	明治安田生命保険相互会社	2．イベント・講座協力	蘆花まつりの出展ブースの協力	蘆花まつりに出展する「健康測定コーナー」に明治安田生命保険相互会社が、烏山総合支所健康づくり課とともに協力（令和7年10月26日）。	烏山総合支所
96	明治安田生命保険相互会社	4．寄贈・寄附	医療的ケア児への寄附	「世田谷区医療的ケア児の笑顔を支える基金」に131万円の寄附をいただき、区として感謝状を贈呈するため贈呈式を開催。	障害福祉部
97	ヤマト運輸株式会社	2．イベント・講座協力	出張授業	「安全教室」について区内小学校にて出張授業を実施 （令和7年4月30日 桜丘小学校、令和7年5月1日 砧小学校、令和7年5月7日 砧南小学校、令和7年5月13日 桜町小学校、令和7年5月24日 塚戸小学校、令和7年6月6日 武蔵丘小学校、令和7年10月13日 給田小学校）	教育総合センター

令和7年度 民間提案による官民連携実績（実施予定も含む）※五十音順　　令和8年3月末時点

No	相手方	連携ジャンル	概要	取組内容	所管部
98	ユナイト株式会社	2．イベント・講座協力	「世田谷区健康経営セミナー」への出演	「世田谷区健康経営セミナー」への出演を依頼し、事業所における健康経営に関する取組み内容やその効果等を発表する予定。	世田谷保健所
99	ユニ・チャーム株式会社	3．事業協力・協働	区内の一部公共施設における生理用品の設置	共に支え合う社会の実現に向けて、「生理」に伴う女性の様々な負担を個人の問題ではなく、社会全体の課題として捉え、誰もが必要な時に生理用品にアクセスできる環境を整えることにより、女性の健康と尊厳の確保、生理に対する正しい理解の促進、並びにジェンダーギャップの解消を図ることを目的とし、「世田谷区とユニ・チャーム株式会社との相互連携・協力に関する協定」を締結（令和8年4月1日）。	生活文化政策部
100	楽天銀行株式会社	2．イベント・講座協力	出張授業	「銀行の仕事と金融リテラシー」について、区立小・中学校にて出張授業を実施 （城山小学校：令和8年1月22日、若林小学校：令和8年1月27日、世田谷中学校：令和8年3月9日）	教育総合センター
101	楽天グループ株式会社	2．イベント・講座協力	出張授業	「サステナブル消費」について、区立小学校５年生を対象に出張授業を実施 （城山小学校：令和7年9月9日、17日、若林小学校：令和7年10月24日、10月27日）	教育総合センター
102	楽天グループ株式会社	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	楽天クリムゾンハウスでのオフィスツアーと、インターネットを安心・安全に使用する方法を楽天の社員の方と一緒に考える講座を実施（令和7年7月29日）。	教育総合センター
103	株式会社Liquitous	5．実証実験の実施	オンラインプラットフォームに関する実証実験（実証実験提案制度活用）	令和7年4月に施行した「子どもの権利条例」の理念を踏まえ、多様な子ども・若者からより多くの声を集めるための意見募集ツールとしてオンラインプラットフォームを試験的に導入し、ユースカウンシル事業における有用性を検証する実証実験を実施した。	子ども・若者部
104	株式会社リコー	2．イベント・講座協力	教育委員会の「ハローキャリアワーク」事業の実施	世田谷区を拠点に活動するラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」のホストゲームを盛り上げるアイデアを考え、当日の受付や会場イベントのサポートなどをする取組みを実施（令和7年11月16日、12月13日）。	教育総合センター
105	株式会社リコー	2．イベント・講座協力	「リコーブラックラムズ東京」による健康フェスブース出展	令和7年7月21日に開催された「せたがや健康フェス2025」にて、ブースでパスターゲットを使ったラグビー体験を、ステージで「ブラックラムズアカデミーコーチによるラグビーボールを使った体操」を実施し、子どもからご高齢の方まで楽しんで実践できる体験会を行った。	世田谷保健所
106	株式会社リコー	3．事業協力・協働	災害対策における協力体制に関する協定締結	世田谷区内において災害が発生、または発生するおそれがある場合において、区民等の安全確保等の応急対策のために執る協力体制及び平時において区が実施する災害対策活動への協力について、「災害対策における協力体制に関する協定」を締結（令和7年9月24日）し、必要事項を定めた。	砧総合支所
107	株式会社リコー	3．事業協力・協働	提案型プロジェクトチームとの連携	庁内から職員を募集し一定期間活動を行う「提案型プロジェクトチーム制度」において、世田谷区をホストエリアとするラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」と連携したＰＴを発足。区役所ブラックラムズデーや各種広報への活用、ホストゲーム連携イベント等を実施し、区政PRの強化とブラックラムズの認知度向上の両立・スポーツを通じた地域活性化を図っている。	政策経営部
108	株式会社ルネサンス	2．イベント・講座協力	世田谷地域 防災フェアへのブース出展	出展ブースにて、体力測定コーナー（血管年齢、握力測定）、防災エクササイズの啓発を実施（令和8年3月14日）。	世田谷総合支所
109	レジル株式会社	3．事業協力・協働	地域脱炭素およびレジリエンス強化促進に向けた連携協定締結	住宅地の脱炭素化推進に向け、集合住宅固有の事情等を踏まえた新たな施策を検討・実証することで、カーボンニュートラルの実現や地域レジリエンスの強化に向けた取組を推進することを目的とし、「地域脱炭素およびレジリエンス強化促進に向けた連携協定」を締結（令和7年6月2日）。 事業検討のための参考として、区営住宅４施設での現地調査及び設置設備の検討、事業費試算等を実施。居住支援課によるマンション交流会（10月）での講演にも協力。	環境政策部

テーマ設定型による取組み

No	概要	取組内容	所管部
1	視覚障害者のための歩行支援システム	新庁舎整備では「誰にでもわかりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を基本方針の1つとして掲げ、障害当事者や専門家の意見を反映し、点字ブロックや音声案内を導入したが、庁舎の大規模化により視覚障害者の単独移動が困難との声があり、ICTを活用した歩行支援が求められた。 その対応として、既存の点字ブロックに記号を付けてコード化し、スマートフォンで読み取ると音声案内が可能なシステムの有用性を実証するため、実証実験の提案事業者を募集した。	庁舎管理担当部
2	ユースカウンシル意見募集ツール	令和7年4月施行の「子どもの権利条例」第15条では、区が子どもの意見を尊重し、その検討結果と理由を子どもに伝える努力義務を定めており、ユースカウンシルや子ども・青少年会議で意見聴取を行っている。より多く・多様な子どもの声を集めるため、意見募集ツールとしてオンラインプラットフォームを実証的に導入し、有用性を検証する実証実験の提案事業者を募集した。	子ども・若者部
3	買い物支援	上馬4・5丁目では、国道246号や環状7号の交差、高低差により高齢者の移動が困難で、交流や買い物の場が不足している。この課題解消のため、移動販売所を定期的に開設し、販売を通じて世代間交流を促進し、活気ある地域づくりを目指すため、実証実験の提案事業者を募集した。	世田谷総合支所
4	介護事業者スポットワーク支援助成事業への参加事業者の募集	介護事業所におけるスポットワークの活用を支援し、介護の担い手の裾野を広げることで介護人材不足の解消を目的とした「スポットワーク支援助成事業」を実施する。本事業において、区と一緒に介護事業者におけるスポットワークの活用促進に取り組むスポットワーク事業者を複数社選定するため、募集を行った。	高齢福祉部
5	ひとりぐらし高齢者の見守り機器等補助事業の登録事業者募集	ひとりぐらし高齢者の増加を背景に、見守りの必要性が高まっていることから、見守り機器等の利用に係る費用補助事業を実施する。本事業において、見守り機器等による見守りサービスを提供する登録事業者を募集した。	高齢福祉部

サウンディング型市場調査の実施

No	概要	取組内容	所管部
1	世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築事業に関するサウンディング型市場調査	事業者の参画可能性や事業条件、提案する事業内容等について対話を行い、効果的な実施設計、工事の発注手法の導入方策について調査することで、具体的な公募要件を整理することを目的としてサウンディング調査を実施。	教育政策・生涯学習部
2	世田谷区立スカイキャロット展望ロビーに関するサウンディング型市場調査	開設から約30年が経過したキャロットタワーについて、維持保全による更新が必要な時期を迎えていることから、今後のリニューアルも見据えた、さらなる有効な活用の検討を進めていくため、効果的な事業案の提案を広く民間事業者に求めるサウンディング型市場調査を実施。	世田谷総合支所 政策経営部